

地下水の自主調査結果について

当院では、地下資源である地下水を、飲用水および生活用水として利用しております。これは災害拠点病院の役割として、大規模災害時において利用可能な飲用水を確保することを目的としているもので、最新の地下水処理システム(逆浸透膜ろ過装置等)を導入し、地下水を処理した上で利用しております。その水質に関しては、定期的に分析調査を行い、水道法第4条に基づく水質基準値以下に処理された安全な水であることを確認しております。

しかしながら、今回地下水(処理する前の水)におきまして、地下水の水質汚濁に係る環境基準値を上回る有害物質が検出されたため、本日調査結果および対策を行政当局へ報告いたしました。

1. 調査場所

- 1) 名称 愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院
- 2) 所在地 愛知県弥富市前ヶ須町南本田 396
- 3) 敷地面積 42,208.00 m²

2. 調査結果

1) 地下水水質分析結果

特定有害物質	基準超えの濃度範囲 (環境基準値に対する倍率)	超過地点数 ／調査地点数	環境基準値
砒素	0.011～0.013 mg/L (1.1～1.3倍)	1／1	0.01 mg/L 以下

2) 浄水水質分析結果(地下水処理システム後の水質)

特定有害物質	処理後の濃度	調査地点数	水質基準値
砒素	0.004～0.005mg/L	1／1	0.01 mg/L 以下

(参考)

- ・地下水処理システム(逆浸透膜ろ過装置等)を用いて処理された浄水の水質については、すべての水質基準項目において水質基準値を大幅に下回っており、安全で良質な水であるといえます。

3. 汚染の原因

当院では、一部の治療に三酸化砒素を含む薬剤を使用しておりますが、使用後の残液及び薬液の触れた器具等は、廃棄物の処理及び清掃に関する関係法令等に従って適切に廃棄しております。また、過去に漏えい事故は確認されておらず、下水等に混入されることは無いため、汚染原因は不明です。

4. 対策の概要

地下水汚染については汚染の原因が不明であるため、飲用水に関しては市水に切り替え、生活用水に関しては地下水処理システム(逆浸透膜ろ過装置等)を用いて処理された浄水を引き続き利用することいたしました。今後も行政当局のご指導の下、安全かつ安定した水道供給に向けた対策を実施してまいります。